プレスリリース　2022.09.20
アンスティチュ・フランセ関西

ニュイ・ブランシュ KYOTO 2022

パリ白夜祭への架け橋 - 現代アートと過ごす夜

2022 年 10 月 1 日（土）

※一部のプログラムは前後数週間実施
会場：京都市内 33 会場
入場無料　※一部、事前予約が必要な会場あり
公式サイト（日本語・フランス語）：https://nuitblanche.jp/

京都市とアンスティチュ・フランセ関西が毎秋開催するニュイ・ブランシュ KYOTO は、**京都市の姉妹都市**である**パリ市発祥**のニュイ・ブランシュ（白夜祭）に着想を得た**現代アートの祭典**です。

12 年目を迎える今年は**「遊び場（Aires de jeux）」をテーマ**に、**日仏アーティスト**によるビジュアルアートやパフォーマンス、展覧会など、バラエティ豊かなプログラムをお届けします。
フランスの 4 つの文化機関、そして開館30周年を迎えるヴィラ九条山とのコラボレーションにもぜひご注目ください。

様々な出来事が私達を取り巻く今こそ、リアルやバーチャルの中を行き交いながら、心軽やかに、アーティスト達の創り出す世界に誘われてみませんか？

［主催］京都市、アンスティチュ・フランセ関西　［共催］京都駅ビル開発株式会社、京都芸術センター、京都市立芸術大学、ヴィラ九条山、ロームシアター京都　［特別後援］在日フランス大使館　［後援］外務省、在京都フランス総領事館、京都府、京都新聞、朝日新聞京都支局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局　［助成］アンスティチュ・フランセパリ本部、パリ市、ポーラ美術振興財団、笹川日仏財団、花王芸術・科学財団　［協賛］DS オートモビル、DMG森精機株式会社、JR西日本京都駅ビルグループ、大日本印刷株式会社、東洋アルミニウム株式会社、ワコールスタディホール京都、UBISOFT、大成機工株式会社、株式会社大林組、パリ・ポンピドゥー・センター日本友の会［協賛ギャラリー］ギャルリーためながが京都、ギャラリーヒルゲート、京都伝統工芸館［特別協力］フランス国立グラフィック・センター（ル・シーニュ）、モビリエ・ナショナル―フランス国有動産管理局、パリ市 デザイン・モード・工芸ビューロー、Electroni［k］　［協力］文化庁地域文化創生本部、KYOTO EXPERIMENT、株式会社中澤ホールディングス、カドカワ株式会社・RE：KAO、株式会社竹定商店、SKELETON CREW STUDIO、リーン・ロゼ　［プロデュース＆コーディネーション］MUZ ART PRODUCE

2022 年のニュイ・ブランシュ KYOTO

- **参加アーティスト：100 名以上**
- **展覧会、パフォーマンス等、企画の数：約 40 件**
- **フランスの 4 つの文化機関とのコラボレーヨン**

今年のニュイ・ブランシュ KYOTO では、フランス国立グラフィック・センター（ル・シーニュ）、モビリエ・ナショナル―フランス国有動産管理局、パリ市 デザイン・モード・工芸ビューロー、Electroni[k] の 4 つの文化機関とコラボレーションを行います。⇒ 3 ページ

- **ヴィラ九条山開館 30 周年記念**

フランス政府のアーティスト・イン・レジデンス（芸術家が滞在しながら活動する施設）として 1992 年、山科区に開館したヴィラ九条山が今年、30 周年を迎えます。これまで 400 名を超えるアーティストが京都に滞在し、創作活動を行いました。昨年はコロナ禍によりレジデントを予定通りに迎えることが出来ませんでしたが、今年はニュイ・ブランシュにも多くのレジデントが登場します！⇒ 5 ページ

- **開催期間を延長**

今年のニュイ・ブランシュは 10 月 1 日（土）の前後数週間にわたって開催する会場が複数あり、より多くの会場をご覧いただくことができます。シンポジウム等、関連イベントも多数。10 月 1 日のみ開催する限定イベント⇒ 8 ページ

公式サイト

プログラムの
ダウンロード

広報用画像の
ダウンロード

■ 16:15-16:30 オープニング・セレモニー

会場：京都駅ビル駅前広場（ホテルグランヴィア京都前特設ステージ）
※雨天時は 7 階東広場北ピロティ
門川大作／京都市長、フィリップ・セトン／駐日フランス大使による
ご挨拶。

主催 京都市 CITY OF KYOTO
共催 京都駅ビル
特別後援
後援 外務省
助成 INSTITUT FRANÇAIS + VILLE DE PARIS
公益財団法人 ポーラ美術振興財団 POLA ART FOUNDATION
笹川日仏財団
公益財団法人 花王 芸術・科学財団
協賛 DS AUTOMOBILES
協賛ギャラリー
DMG MORI
JR西日本京都駅ビルグループ
DNP 大日本印刷
東洋アルミ
UBISOFT
特別協力
協力 文化庁
BAL
プロデュース＆コーディネーション MUZ

1. フランスの 4 つの文化機関とのコラボレーション

モビリエ・ナショナル―フランス国有動産管理局

17 世紀以来、伝統工芸とクリエーションを支援するモビリエ・ナショナルは、フランス国が所有する世界に類を見ない家具やオブジェのコレクションの保存と修復を行い、卓越した技術の継承に努めています。

無鄰菴　⑭番会場

18:00-21:00 Hémicycle

仏国家機関モビリエ・ナショナルとフランスのインテリアブランド リーン・ロゼが提携して制作された椅子の展示。デザイン：フィリップ・ニグロ

※要事前予約

フランス国立グラフィック・センター（ル・シーニュ）

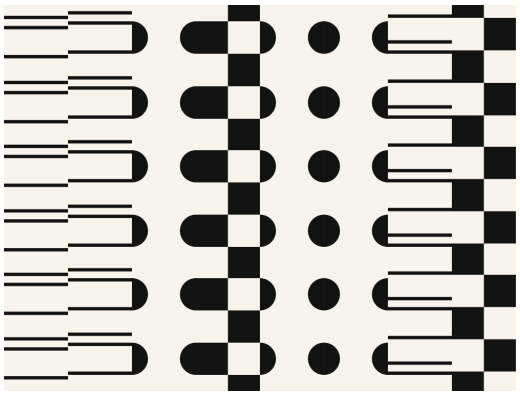
フランスで唯一、現代のグラフィックデザインとクリエーションに特化したアートセンターです。

四条通東洞院地下道　㉒番会場

6:00-23:00　Carrés, ronds et lignes combinés – Helmo

四角、丸、線の組み合わせ– Helmo

京都の地下道のためにフランスのスタジオ Helmo が手掛ける、クリエーションとフォルムの遊びを存分に感じさせるデザイン。装飾のように、空間や行き交う人々が通過する時間を意識し、この公共空間のために製作された作品を展示します。



アンスティチュ・フランセ関西―京都　⑤番会場

エティエンヌ・ミヌールと出版社 Volumique による

「Jouable（ジュアーブル）」展

手で触れられる物とデジタルな物の間にある新しいタイプのゲームや本を、10 年以上にわたって開発するエティエンヌ・ミヌールと出版社 Volumique。新しいタイプのゲームや本で遊んでみましょう！※10/8、15、22、29：お子さま向け作品紹介

Electroni[k]

Electroni[k]は 2001 年以来、音と映像、新しいメディアにおける現代アートのためのプロジェクトを展開。とりわけ領域を横断する革新的なクリエーションに焦点を当てて活動しています。

アンスティチュ・フランセ関西—京都　⑤番会場

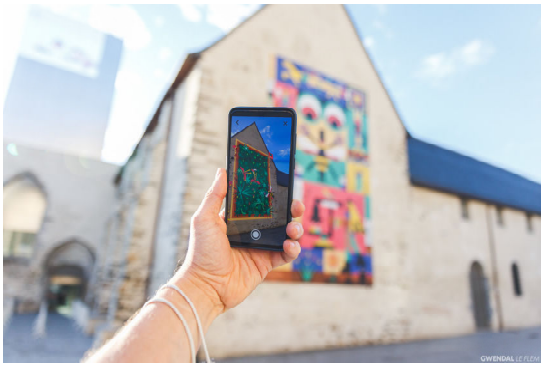
エリー・オールドマン「La Grande Histoire du Dessin Sans Fin / 終わりなき絵の壮大な物語」

2017 年春、フランスの若手イラストレーター、エリー・オールドマンの突飛なアイデアから全てが始まりました。アクシデントにより療養期間をベッドの上で過ごさざるを得なくなった彼女は、インスタグラムに終わりのないドローイングの投稿を始めたのです。やがて投稿数 200、ドローイングの長さ 14m、フォロワー数 18000 人に達すると、エリー・オールドマンは Electroni[k]と共に、絵の中だけではなく拡張現実（AR）の中でも発見のある、インタラクティブで進化する巨大な壁画制作を考案しました。※10/8、15、22、29：お子さま向け AR 体験

ロームシアター京都　⑪番会場

10:00-17:00　フランスのグラフィックデザイナーGuillaumit の拡張現実の作品「Livelyyy」の展示

Electroni[k]が紹介するデザイナーGuillaumit（ギヨミット）による、拡張現実のゲームが楽しめる巨大なグラフィックアートを展示します。



©Gwendal Le Flem

★京都 BAL　ニュイ・ブランシュ KYOTO 2022

AR 体験スポット「 Guillaumit x DS オートモビル」

会場：京都 BAL　1F エントランス

9/23（金）～10/2（日）

パリ市　デザイン・モード・工芸ビューロー

パリ市のデザイン・モード・工芸ビューローは、クリエイティブな職業を支援するパリ市の政策を実施。デザインや伝統工芸等に携わる企業やクリエイターを積極的にサポートしています。

無鄰菴　⑭番会場

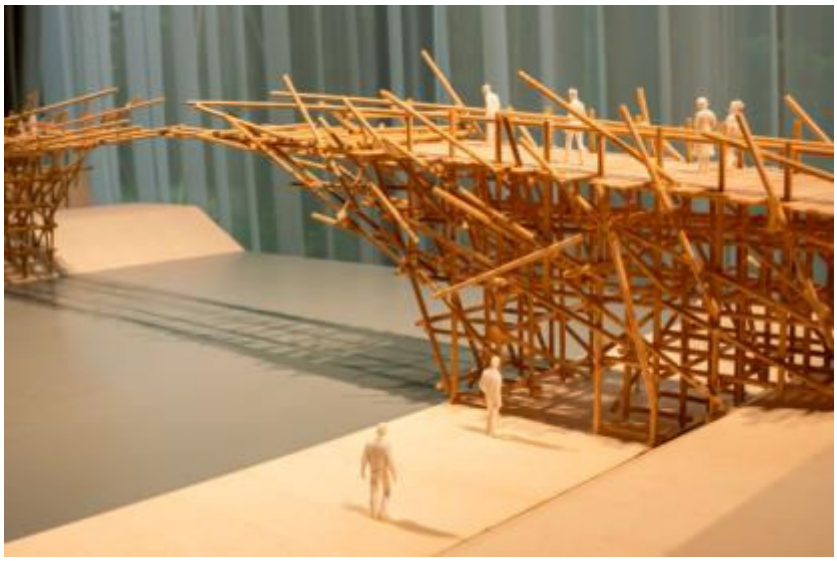
18:00-21:00 Inspiration of Kyoto

京都アンプリチュード株式会社による、仏人デザイナーと京都の伝統工芸の作り手の協業から生まれたインテリア商品の展示。

※要事前予約

2. 注目イベント！

世界的に活躍する川俣 正のプロジェクト。昨年のニュイ・ブランシュKYOTOでは、松栄堂 薫習館に原寸大の橋脚の一部を作りました。今年はさらにスケールを拡大し、木造の橋の一部を出現させます！



京都市京セラ美術館⑬番会場
＜京セラスクエア（美術館前広場）＞

● **川俣正「夢浮橋 ワーク・イン・プログレス 2022」**

パリを拠点に世界で活躍するアーティスト川俣正がニュイ・ブランシュKYOTO 2020 で制作した鴨川の橋の模型をもとに、学生のワークショップのための**原寸大スケールの橋を屋外に展示**します。一大プロジェクトに向けての途中経過を紹介。

※9/27（火）10:00-16:00 模型設置見学会
※シンポジウム「京にかける橋」 9/30（金）17:00-20:30 会場：京都市京セラ美術館 講演室 無料・事前予約制

昨年のニュイ・ブランシュの様子（会場：松栄堂 薫習館）

川俣正「Belvedere de l'hermitage」（フランス、ナント市）

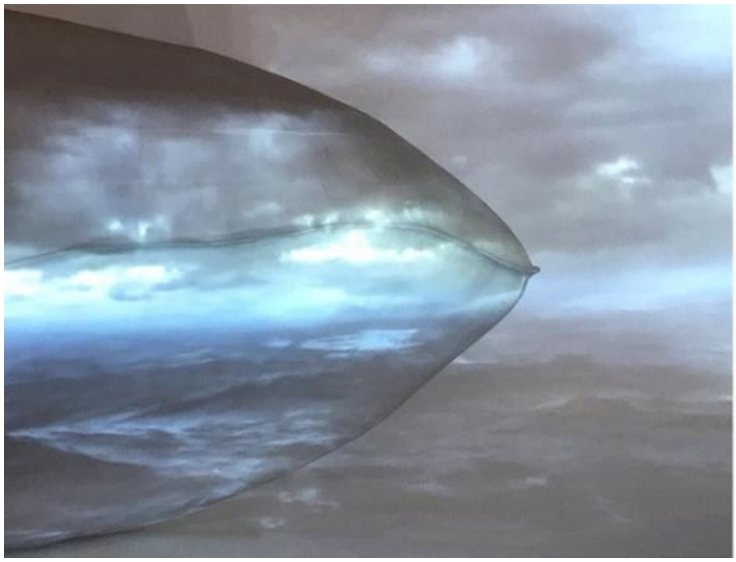
今年のニュイ・ブランシュのテーマである「遊び場」を、映像でご体験ください。

Skeleton Crew Studio O-DEN bldg. ㉖番会場

12:00-21:00 谷口暁彦 映像展「 やわらかなあそび / softplay」

クッション素材でつくられた子供のための遊び場「ソフトプレイ」をモチーフに、部分的に似ていて、部分的に似ていない、現実のシミュレーションとしてのバーチャル空間と、現実との関係をテーマにした作品。本展では、実際に行われたパフォーマンスの様子がフィードバックされた映像作品を展示します。

3. ヴィラ九条山開館 30 周年記念



©Céline Wright

京都市京セラ美術館　＜多目的室＞⑬番会場

10:00-18:00　インスタレーション「コクーン・シェルター！」

ヴィラ九条山に滞在中の工芸家兼デザイナー、セリーヌ・ライトが着想を得ているのは、自然素材の和紙です。本展では、上田普（書家、パフォーマー）、フィリップ・ルイ（映像作家、2021　年度ヴィラ九条山レジデント）、ミラン・フォルトコエフと協働し、光に包まれた繭のような有機的な形の和紙と竹を使ったインスタレーションを創作。

松栄堂　薫習館　㉕番会場

10:00-19:00　Rêves cosmiques -　宇宙の夢

サンドリーヌ・エルベルグ（2021　年度ヴィラ九条山レジデント）写真展。日本庭園から宇宙へのかつてない旅へと誘います。

ワコールスタディホール京都②番会場

10:00-21:00　Enveloppe-moi　わたしを包んで

フランスの芸術家アネット・メサジェの“Enveloppe-moi”は、ベルギーの小説/芸術家ジャン＝フィリップ・トゥーサン（1996　年度ヴィラ九条山レジデント）との手紙と写真による幻想的な往復書簡を納めたコフレ（箱型の作品集）。このコフレをトゥーサンの写真作品とともに架空のロマンス、“大人の遊び”として展示します。

ジャスミン④番会場

11:00-19:00　ボテラ・ブルノ展「猿のお金」

カリン・シュラゲター（2021　年度ヴィラ九条山レジデント）がキュレーターを務める一連のイベントと展覧会企画の第 2 弾として開催。

4. 10 月 1 日（土） 限定イベント

今年のニュイ・ブランシュでは、10 月 1 日の前後数週間にわたり開催する企画が多数揃いました。
その中で、10 月 1 日（土）当日にのみご覧いただける限定イベントを時系列でご紹介します。

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA ㉔番会場

13:00-21:00 Kazumichi Komatsu & OASIS 2 presents「Faded Yah Man 4」

ジャンルを超えて進化する京都音楽シーンの今にフォーカス。美術家の小松千倫と古着商 OASIS 2 によるパーティー「Faded Yah Man」をフィーチャーします。音楽、美術、DJ、声楽から多彩なゲストを招聘、話題のシリーズ第４弾で初の京都凱旋。OASIS2／POP-UP STORE が限定出店！

ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川 ⑨番会場

14:00-17:00 Meet the artists from Germany

ヴィラ鴨川滞在中のドイツのアーティストがアトリエを開放し、来場者と直接交流。

ヴィラ九条山 ⑩番会場

14:00-20:30 ニュイ・ブランシュ KYOTO x ヴィラ九条山

開館 30 年を目前に、ヴィラ九条山が新たなイベントを開催します。ヴィラ九条山の会場では、それぞれ日本から異なる影響を受け、関係性を築いている滞在中のレジデントアーティストたちの多様なリサーチプロジェクトを発表。

京都駅ビル駅前広場 ①番会場

16:00-16:15 テディー・サンチェスとデイシー・サンチェスによるパフォーマンス「Envahisseurs (Collages) / オンバイサー（コラージュ）」

テディー・サンチェス（2021 年度ヴィラ九条山レジデント）が日本の作業着とヒップホップカルチャーのリンクに着目し、ダンスウェアへの転換を提案。

出演：小倉笑、PERI、nouseskou、SHUTO、ジョンソン瑞華

©Teddy Sanches, Mannequins :Kou Yamamoto &Eri Yamamoto,Kyoto, 2022

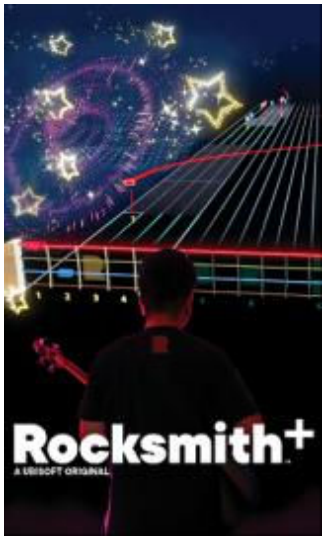
16:35-17:00 京都市立芸術大学音楽学部サクソフォン・カルテットによる演奏

20・21 世紀に作曲されたサクソフォン四重奏曲を演奏します。

アンスティチュ・フランセ関西ー京都　⑤番会場

● 16:00-20:00　Institut français x Ubisoft

フランス本社を置き、ゲームソフトの開発・販売を行う Ubisoft のゲーム『Rocksmith+（ロックスミス+）』と『ジャストダンス』で、音楽の世界をお楽しみください。ライブパフォーマンスやワークショップを体験頂けます。



© Ubisoft

↓

ギャラリー素形㉝番会場

17：30-18：30　**Moving Sai　- 茶衣　動衣　心衣　-**

パフォーマンス　＋　茶会（要事前予約）

↘

京都国立近代美術館（1 階　講堂　/ Auditorium 1F）⑫番会場

● 18:00-19:00　アーティストトーク&セッション

ヤニック・パジェ（音楽）、アレクサンドル・モベール（映像）、橋本幸士（物理学者）、前田英一（振付、ダンス）、合田有起、野村香子（ダンス）

©Alexandre Maubert

●10:00-20:00　Consciousness　弦理論交響曲（上映時間 15 分）

物理学の理論を芸術に昇華し、再解釈するヤニック・パジェ(N'SO KYOTO)による新しい作品。アレクサンドル・モベール（2012 年度ヴィラ九条山レジデント)とのコラボレーションにより、ダンスを通して二元性の理論を表現する"音と映像による没入型インスタレーション"。

↙

京都芸術センター　フリースペース㉑番会場　18:00-18:40 (17:40 開場)

大島祐子（パーカッション）×稀音屋千鶴（長唄三味線）　コンサート『 YÛGÔ（遊合）』

フランスを拠点にジャズ即興シーンで活躍するドラマーの大島祐子（ヴィラ九条山に滞在中の 2021 年度レジデント）が、海外でも長唄を精力的に紹介し、ジャズ音楽家との共演も豊富な稀音屋千鶴を迎えて送る一夜限りのコンサート。要事前予約（京都芸術センターWEB 予約）

©photographer ; IJ.Biermann

↙

京都コンサートホール 1 階エントランスホール　⑥番会場　**19:30-20:30　「音の螺旋」**

会場を「Aires de jeux／遊び場」に見立て、作曲家・演奏家・聴き手と共に「音」で“遊ぶ”試みを行います。

事前申込制（申込期間：9/1-9/12）

↘

©Kyoto Architecture Film Festival2022 ©Naoko Tamura

アンスティチュ・フランセ関西ー京都　⑤番会場

● 20:30-21:30　京都建築映像祭 2022

黒川紀章が設計した中銀カプセルタワービルの記録映像等、短編映像の上映。

↙

CLUB METRO⑲番会場　**22:00-5:00　Nuit Blanche KYOTO 2022 After Party**

今年も恒例のアフターパーティーを開催。※ドリンク代別途 600 円要

5. キッズのためのプログラム

AR で遊ぼう！お子さまにも楽しんで頂けるプログラムです。

アンスティチュ・フランセ関西－京都　⑤番会場

・エリー・オールドマンによるインタラクティブなイラスト作品

「La grande Histoire du Dessin Sans Fin /終わりなき絵の壮大な物語」

お子さま向け AR 体験：10/8、15、22、29（土）

11:00-11:30、14:00-14:30 の 2 回

6 歳以上対象／無料／要事前予約

©Rennes Métropole - Christophe Le Devehat

・エティエンヌ・ミヌールと出版社 Volumique による

「Jouable（ジュアーブル）」展

作品を自由に無料で体験していただけます。

※10/1（土）16 :00-22 :00／10/8、15、22、29（土）

10 :00-18 :00

6. 京都市内の文化施設・ギャラリー

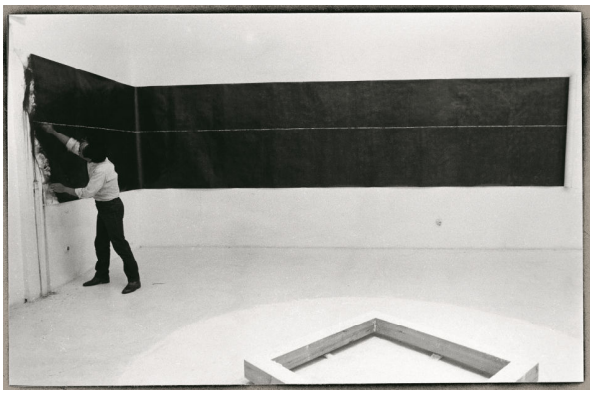
ギャラリーヒルゲート　㉙番会場

松谷武判・神野立生　－パリで出会った二人展－

松谷武判と神野立生の平面及びインスタレーションによる展覧会。

10/2（日）　14:00-16:00　トークイベント

会場:アンスティチュ・フランセ関西　※要予約



©松谷武判

▸▸▸50 年以上の時を経て

1966 年に毎日美術コンクール大賞を受賞して渡仏した松谷武判は、以降フランスに留まり、今もフランスで活躍しています。2019 年には、パリのポンピドゥーセンターで個展が開催されました。

毎日美術コンクールの大賞受賞者をフランス政府給費留学生として渡仏させることを発案したのは、当時の関西日仏学館（現アンスティチュ・フランセ関西）の館長でした。

50 年以上の時を経て、松谷氏とアンスティチュ・フランセ関西の縁が再び結ばれます。

- ギャルリーためなが京都：葩島正雄展ー巴里、光のヴェールに包まれてー
- 京都伝統工芸館：ヴァン クリーフ＆アーペル デザインスカラーシップ 2021」受賞作品展
- 元離宮二条城二の丸御殿台所・御清所：
  「プレ BIWAKO ビエンナーレ 2022 × ニュイ・ブランシュ KYOTO」

元離宮二条城二の丸御殿台所・御清所
©給田麻那美 「ぷんぴよちゃん」

- キカ・ギャラリー：URUSHI PROJECT 2022
- ギャラリーギャラリー：高木 光司個展（ファイバーアート）
- ギャラリー16：中村治彦「歴史・叡智・未来」
- ギャラリーモーニング：廣田美乃個展
- KUNST ARZT：清水 紗希 個展「reel」
- COCOTO by COCO Gallery：エリック・ボテロ写真展 〝アフリカ ベナンの形象〟
- THE TERMINAL KYOTO：山水ー上田普作品展 コラボレーション with セリーヌ・ライト、新島龍彦、浦田恭資
- 白川親水テラス：蜉蝣景：paysage éphémère 阿闍梨橋其の2
- ゼン ハウス ギャラリー："Légèreté de l'être"
- DELTA / KYOTOGRAPHIE & 出町桝形商店街：武 耕平写真展「世界のお店」
- 同時代ギャラリー：熊田悠夢 個展「おとずれる想像」

＜提携プログラム＞

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2022

10/1 (土) - 10/23 (日)

国内外の「EXPERIMENT (エクスペリメント) = 実験」的な舞台芸術を紹介するフェスティバル。演劇、ダンス、音楽、美術などジャンルを横断した実験的表現が集まります。今年のキーワードは「ニューてくてく」。てくてく＝歩くことや移動することを捉え直し、私たちの身体性と空間、時間を新たに共有し直すことを提案します。

© 小池アイ子

主な会場：ロームシアター京都、京都芸術センター、京都芸術劇場 春秋座、THEATRE E9 KYOTO ほか
料金：プログラムによって異なる ／主催：京都国際舞台芸術祭実行委員会／公式サイト：kyoto-ex.jp

新型コロナウイルス感染拡大防止策

※最新情報は公式サイト（www.nuitblanche.jp）でご確認ください。 ※当日は公共交通機関をご利用のうえ、ご来場ください。
※新型コロナウイルスの感染状況及び天候等により、プログラムが変更される場合があります。 ※マスクの着用、手指の消毒など、感染拡大防止の取組にご協力ください。 ※感染拡大防止のため、会場の入場制限をさせて頂く場合がございます。

リリースに関するお問合せ
アンスティチュ・フランセ関西―京都 広報担当 長谷川 075-761-2168 satoko.hasegawa@institutfrancais.jp